

新聞発表 第五〇〇号 三月二十日

内閣書記官

三月十九日奉天弁陸軍省着電

黑龍江
有兵匪
の南下

一、及吉林軍と連絡を有し黑龍江省方面より南下した兵匪は他の匪賊と令して其数約五千となり十五日夕扶餘（哈市西南方一五〇軒）を占領したものの様下あり、農安の吉林軍騎兵は此か討伐の爲五家站（陶賴昭西方約二〇軒）附近に兵力を集結中であるが兵匪が優勢なり爲積極的行動は困難の様下あり。

及吉林
軍の状
況

二、劉満海、王徳林の兵匪は東方に移動せんとす。徵候があつて劉の部下約一千は既に穆稜北方地区に進出し又其一部は東寧（三分山口）に向ひ前には最近久砲到着し又多数の彈薬が支給せらるたとの報あり、兵卒は彈薬が豊富下あるから吉林軍に敗れたいと豪語して居る由、又依蘭（三姓方正、方面には軍用自動車百台が運轉して居ると云ふ。以上の如く及吉林軍は戦術を整へて居る情状下ありから依蘭下哈市に避難して来る者が相考の數に上り吉林軍も亦漸く緊張しつゝあると云ふ。